



# このごろ、なんだか昔とちがう？ 何かいる？

## 公園や里山で・・・

- 湿地、池、川などに5本指の足跡があった。
- 以前は見かけたカエルやイモリ、サワガニなどを見かけなくなった。
- 種類は分からないが、猫から中型犬くらいのけものを見かけた。
- タヌキのような動物を目撃したが、しっぽがしましただった。

## 田んぼや畑、庭先で・・・

- これまでなかった農作物の被害がでるようになった。
- 田んぼのあぜに穴が開けられた。
- 田んぼの畦や畑の養生シートに5本指の足跡があった。
- 果樹が荒らされた。

## 建物（家屋・神社仏閣など）で・・・

- 建物に5本指の足跡があった。
- 柱を登る5本の爪あとがあった。
- 天井や壁の一部が壊された。
- 天井にシミができたり、雨もりのように水滴が落ちてきた。
- 天井裏から聞いたことのない大きな足音や物音がした。
- 天井裏に犬の糞のようなものが大量にあった。
- 飼い犬や猫の餌が何者かに食べられてしまった。
- お供え物が食べられたり、荒らされたりした。

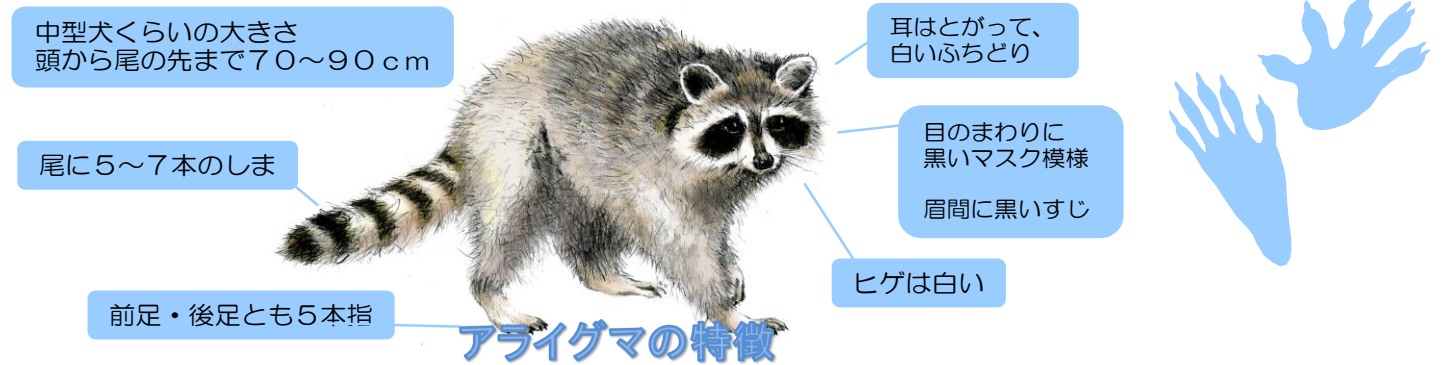


それは、外国から来た  
生きものかもしれません。

# 外国から来た生きもの～外来生物 「人間によって他の地域から持ち込まれた生物」

## ◆東京都でのアライグマ・ハクビシン

アライグマは北アメリカ大陸、ハクビシンは中国南部・東南アジアなどから持ち込まれた外来生物です。近年、東京都では23区でも多摩地区でも目撃や捕獲数が増加しています。



### ① 生物多様性\*への影響

非常に様々な動物を捕食したりします。また、体の大きさが近い在来の哺乳類とは食べ物を巡っての競争の可能性あることが指摘されています。

### ② 人の生命や健康の被害

アライグマ・ハクビシンは複数の人獣共通感染症（動物から人に感染する病気）が知られています。人が住んでいる家屋にも侵入するため、感染症が伝染する危険性があります。

#### ☆対策

家屋に侵入されないようにするために

- ・家屋の壁や、基礎部分に破損がある場合は速やかに修繕する。
- ・構造上の隙間（屋根近くの通風孔、増築部分、ひさしが重なり合っているところ、縁の下）を網等でふさぐ。
- ・屋根に届くほどの樹木を剪定する。また、屋根に上げるようなものを片付ける。

### ③ 暮らしの被害

家屋や集合住宅に侵入して建物を破損したり、ペットや飼っている魚などを食べたりもします。

### ④ 文化の被害

神社や仏閣などの文化財を損壊してしまいます。また、文化の基盤となり、人々の心をはぐくむ地域の自然が変質してしまうことも心配です。

### ⑤ 農作物の被害

果樹や野菜、いも類、飼料作物、マメ類を中心に様々な農作物で被害が報告されています。

#### \*生物多様性とは

長い歴史を経て生まれた多様な生物がつながりをもって生きていること。

生物多様性はそれ自体に大きな価値があり、私たちの暮らしは生物多様性からもたらされる恵みの上に成り立っており、人類が今後も生存するために欠かせないものです。

生息域調査に活用するため、ハクビシン・アライグマを見かけた方はこちらまで情報をお寄せください。

#### ○家屋侵入等に関する相談

府中市生活環境部環境政策課管理係

電話：042-335-4195

メール：kankyo01@city.fuchu.tokyo.ne.jp

#### ○農業被害に関する相談

府中市生活環境部生活環境部経済観光課

電話：042-335-4143

メール：NOUGYOU@city.fuchu.tokyo.ne.jp

「東京のアライグマ・ハクビシン」

東京都環境局自然環境部 発行・有限会社ゼフィルス 作成（平成25年3月）

